

令和4年度 コンクリート舗装に関する意見交換会（山口）
（2023.2.8山口県庁 4階 共用第4会議室）

セメント協会のコンクリート舗装 普及推進のための3か年行動計画 について

一般社団法人セメント協会
コンクリート普及専門委員会
コンクリート舗装推進WG

玉野茂昭

コンクリート舗装の普及推進のための3か年行動計画

国土交通省 地方整備局 への働きかけ	Step	Step1 (22年度)	Step2 (22年度)	Step3 (22年度～)
対象	本省		10か所 (8地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局)	
訪問先	国道・技術課		局長、道路部長	実務担当者
活動	Step2,3の相談		各地整の特徴や実態の把握、講習会の提案	講習会の調整、実施 [講演素材] ・舗装種別選定の手引き ・Con舗装ガイドブック2016
目標	(来年度早々)		22年度で10か所	・より永くCon舗装を使うためのポイント集(2022)

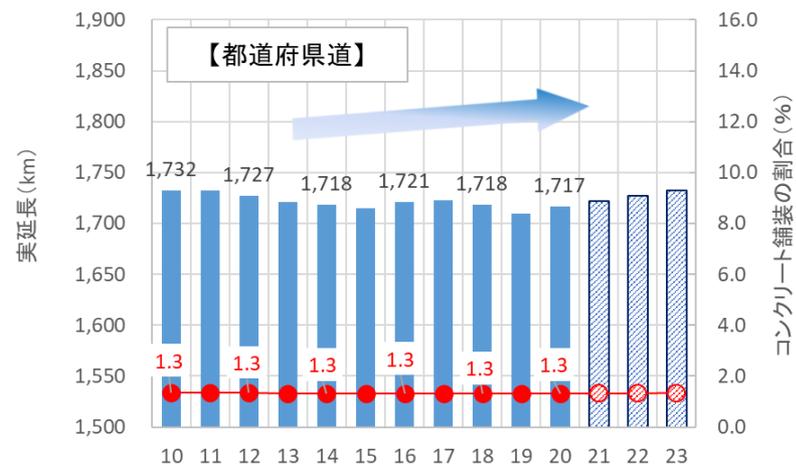
都道府県 への働きかけ	Step	Step1 (22年度～)	Step2 (23年度～)
対象	47都道府県		
訪問先	土木部技術管理課、道路建設課		
活動		採用がある県を選定して意見交換を行う。関心が高い県には、講習会の実施、技術的な助言で採用を促す。	基本的には左記と同様の活動を行い、意見交換の場を増やす。
目標		意見交換：10県/年 関心が高い県との連携（意見交換に含む）：5県/年	

設計者、 施工者向け 講習会	Step	Step1(22年度)	Step2(23年度)	Step3(24年度)
対象	設計者と施工者			
訪問先	測量設計業協会、建設コンサルタント協会			
活動		コンクリート舗装の設計者、施工者を対象として開催（好事例の収集等によるフィードバックによりステップアップを図る）		
目標		10地区/年3回		

背景



- 直轄国道では、年間30kmずつ増加すると見通し、さらに加速するよう積極的な普及活動を行う



- 都道府県道では、横ばい・微減の傾向であるため、上向きに転じるよう普及活動を強化する

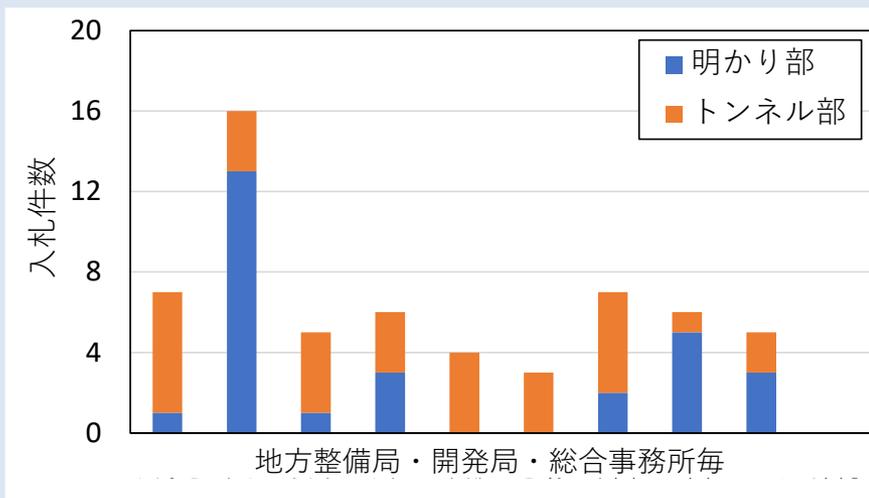
入札結果での舗装種別調査：10か所（全て調査済）

国交省

- 入札結果によると、
- 各地整でコンクリート舗装の採用状況が異なる。
 - 特に明かり部での採用は差がある。



[目標]
明かり部での採用を増やす



入札結果での舗装種別調査 調査済：31県

都道府県



詳細調査

コンクリート舗装工事を実施した県 16県

明かり部		トンネル部		道路以外		合計
新設	補修	新設	補修	新設	補修	
1	6	9	3	7	13	39
7		12		20		

【明かり部での採用】大分県 川上玖珠線

■国土交通省への働きかけ

地区	担当	要望実施	講習会
国土交通省 本省	UBE三菱社	22/7/7	-
東北地方整備局	UBE三菱社	22/10/18	23年度実施
関東地方整備局	太平洋社	22/11/16	23年度実施
北陸地方整備局	デンカ社	22/10/6	23年度実施
中部地方整備局	太平洋社	22/9/6	11/11
近畿地方整備局	住友大阪社	22/9/16	2/16
四国地方整備局	住友大阪社	22/10/24	23年度実施
中国地方整備局	トクヤマ社	22/9/13	1/26
九州地方整備局	麻生社・日鉄高炉社	22/9/12	2/9
北海道開発局	日鉄社	23/1/24	23年度実施
沖縄総合事務所	琉球社	23/2/13	23年度実施

■都道府県への働きかけ

地区	担当	意見交換	講習会
北海道	太平洋社・日鉄社	22/10/11	
秋田県	UBE三菱社	22/11/29	23/4/14
石川県	住友大阪社	22/8/31	
福井県	UBE三菱社	23/3/15	
神奈川県	太平洋社	調整中	
愛知県	太平洋社	22/8/30	23/5/26(1)
香川県	住友大阪社	22/9/2	
広島県	トクヤマ社	調整中	
山口県	全メンバー	22/2/8	
大分県	トクヤマ社	22/6/22	22/12/8(2)

具体例



(1)西尾尾張中央道（愛知県）

東名阪自動車道 蟹江IC付近から数kmにおよび供用30年程度のコンクリート舗装が敷設されており、補修計画立案に向け舗装講習会を実施予定



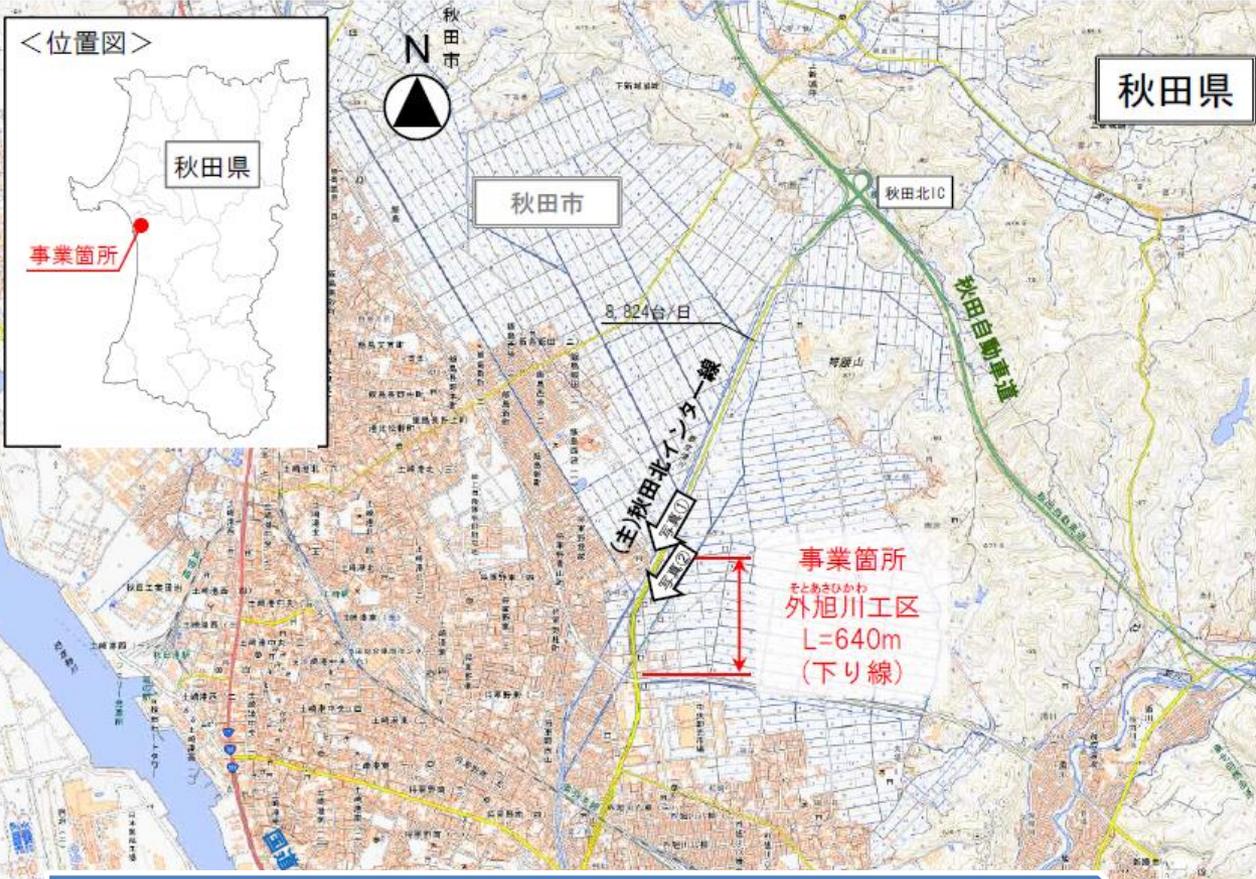
(2)大分県測量設計コンサルタント協会対象講習会（大分県）

小梁川先生にご登壇頂き、道路設計者を対象としたコンクリート舗装設計の講習会を実施

■コンクリート舗装(修繕)の導入例【秋田県 (主)秋田北インター線】

○ 秋田自動車道(秋田北IC)と秋田市中心市街地を結ぶ主要幹線道路であり、アスファルト舗装の損傷が激しく、ひびわれが多数発生していることから、耐久性向上等を目的にアスファルト舗装からコンクリート舗装への施工を実施予定。

<位置図>



写真①



写真②



セメント・コンクリート23年6月号 掲載予定

■採用しやすい箇所の選定事例

○周囲への騒音の影響が少ない箇所

例:山間部など建物がない箇所



例:工業・商業地域など住宅のない箇所



・沿道が山林・商業施設・工業施設などの箇所については、騒音による影響が少なく、コンクリート舗装を採用しやすい。

○舗装へのダメージが大きい箇所

例:大型車混入率の高い箇所



例:交差点部



・大型車混入率が高い箇所や交差点部などは、As舗装に比べわたち掘れ・骨材飛散が生じにくいCo舗装の強みを活かすことができる。

○地下埋設物の工事が想定されない箇所

例:自動車専用道路



例:共同溝整備を行う・行った箇所



・自専道など沿道に家屋がない箇所や共同溝整備済み箇所であれば、地下埋設物による掘り返しがないため、Co舗装を採用しやすい。

○長時間の規制や迂回路の確保が可能な箇所

例:車線数が多い道路



例:バイパス等の並行する迂回路がある箇所



・4車線以上の道路や、バイパスなど並行する迂回路がある箇所であれば、長期の1車線規制が比較的容易であり、Co舗装を採用しやすい。

モデルケースにおける具体的な適用可能箇所の調査が必要